

事務事業名	健康教育事業		所属部局	保健福祉部		単位番号	5204																												
			所属課室	健康増進課		課長名	櫻田正文																												
			所属担当	健康づくり担当		担当者名	斉藤美穂																												
基本政策	基本計画体系	18	快適で心のかよいあう都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目																								
		31	健康づくりの推進		01	一般	0	4	0	1	0	4	0	2	0	1	1																		
政策		31	保健・医療の推進	事業区分	☒ 国の制度による義務的事業 ☐ 施設等維持管理事業																														
施策					☐ 県の制度による義務的事業 ☐ 補助金交付事業																														
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返（開始年度 H22 年度）			法令根拠	健康増進法																														
	☐ 期間限定複数年度（ ～ 年度）																																		
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 内臓脂肪型肥満(メタリックシンドローム)の概念に基づき、生活習慣病の有病者・予備群を減少させる事を目的に、生活習慣の改善に向けた行動変容を支援するため健康教室を実施する。				事業費の主な内訳（22年度）																														
	総合健診結果説明会からメタリックシンドロームと判定された方に対し個別で教室受講を勧奨し、希望者に対し、前期・後期で計4教室を実施する。人間ドック受診の国保加入者にも同様な教室の勧奨を行い、希望者に対して11回実施、<内容>・減量に向けた意識付け強化を目的に腹部CT検査を実施する。・教室は、個別と集団指導				<table> <tr> <th>項目(細節)</th> <th>金額(千円)</th> <th>項目(細節)</th> <th>金額(千円)</th> </tr> <tr> <td>講師賃金</td> <td>100</td> <td>委託料</td> <td>601</td> </tr> <tr> <td>講師報酬</td> <td>80</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>消耗品</td> <td>75</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>贈り材料</td> <td>14</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>通信運搬費</td> <td>30</td> <td>計</td> <td>900</td> </tr> </table>								項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)	講師賃金	100	委託料	601	講師報酬	80			消耗品	75			贈り材料	14			通信運搬費	30	計
項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)																																
講師賃金	100	委託料	601																																
講師報酬	80																																		
消耗品	75																																		
贈り材料	14																																		
通信運搬費	30	計	900																																

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

活動	22年度活動実績 直営2教室・委託2教室(健診機関2) 前年度の直営と委託のフォロー教室 4教室 23年度活動予定 人間ドック受診者対象教室・直営4教室(前期11月開始)・(後期1月開始)
対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか)・人や自然資源等	総合健診を受診した30歳以上69歳未満のメタリックシンドロームと判定された市民
意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていのか、どのように変えるのか)	対象者が自らの健康状態を自覚し、生活習慣の改善のために自主的な取り組みができるようになり、メタリックシンドロームが解消・改善できる。
上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	生活習慣病の発症や重症化を防ぎ、医療費を抑制する。 また、要介護者の発症を防ぐ。

活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア: 実施回数	回
イ: 参加者数(実)	人
ウ: 参加者数(延べ)	人
対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア: 対象人数(教室勧奨者数)	人
イ:	
ウ:	
成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア: 教室終了時の減量者の割合	%
イ:	
ウ:	
上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア: メタリックシンドローム該当者・予備群の減少	人
イ:	

(2) 事業費・指標の推移		単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終年度 (トータルコスト・目標)
年間トータルコスト	事業費	国庫支出金	千円						
		県支出金	千円	504	469	504	480		
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	269	566	397	350		
	事業費計 (A)		千円	773	1,035	901	830	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人	8	8	7	7		
		延べ業務時間	時間	740	700	800	750		
		人件費計 (B)	千円	3,301	3,123	3,170	2,972	0	0
	(A) + (B)		千円	4,074	4,158	4,071	3,802	0	0
活動指標	ア	回		24.0	25.0	25.0			
	イ	人		121.0	130.0	125.0			
	ウ	人		394.0	400.0	395.0			
対象指標	ア	人		450.0	450.0	450.0			
	イ								
	ウ								
成果指標	ア	%		73.8	75.0	75.0			
	イ								
	ウ								
上位成果指標	ア	人		1,692.0	1,692.0	1,600.0			
	イ								

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか？	合併前から老人保健法に基づき各町村で実施したものを、H14年度健康増進法が制定されてからは重点的な健康教育の実施が必要とされている。
事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか？また、今後の予測は？	生活習慣病が急激に増加したことで、H20年度から特定健診・特定保健指導が義務化されてきた。5年間でメタボを 10%減少させる数値目標が国より示されている。
事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか？	今年度新たに人間ドック受診者へのメタボ教室の開催の企画したところ、反響が大きく市民の方の関心の高さがうかがえた。

(4) 改革改善の取り組み状況

改革改善の取り組み実施は？	☐ 取り組みしている 【内容！】 ☐ 取り組みしていない 【理由！】
これまでの改革改善の取り組み状況・経過 (取り組みしていない場合はその理由)	合併直後はすべて直営で実施していたが、H19から運動教室を委託したが、生活支援全般の指導が行き届かず、H22年度には健診委託医療機関に全面委託したが、委託先の事情で継続できず今年度は直営の教室を5コース実施する予定。前年度の教室を評価、修正しながら実施している。
H 22年度に実施した改革改善の内容	委託内容の検討と業者、回数等の変更。直営教室の内容の見直し(教材・媒体の工夫)

事務事業名	健康教育事業	所属部	保健福祉部	所属課	健康増進課
-------	--------	-----	-------	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない(見直し余地がある) 【理由↓】 ☒ 結びついている 【理由↓】 教室参加者の約8割が減量し、減量者は事後の血液検査値も改善している。多くの参加者に生活改善が見られ、体重測定 の習慣化等の行動変容に結びついている。健康的な生活習慣の定着・継続化により、生活習慣病の有病者・予備群を減少 させることができると考える。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行 わなければならないのか？ 民間やNPOに委ねることは可能か？	☐ 見直し余地がある 【理由↓】 ☒ 妥当である 【理由↓】 生活習慣病予防の観点からハイリスク者へのアプローチは必要である。 現在のところ、有効的な委託ができる事業者がなく市での実施となっている。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、こ の事務事業を将来にわたり、維持・継続 していくことは妥当か？目的や事業の必 要性を見直す余地はあるか？	☒ 見直し余地がある 【理由↓】 ☒ 適切である 【理由↓】 メタがすぐに改善できることはなく、長期的な経過の中で変化してゆく状況である。生活習慣病を予防する観点からも、継 続は必要だが実施内容には見直しの余地もあると考えられる。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
有効性 評価	成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えること で成果を向上させることはできるか？で きない場合は何が原因でできないの か？	☒ 向上余地がある 【理由↓】 ☐ 向上余地がない 【理由↓】 教室の企画、教材・媒体、周知方法、評価などを工夫しより、効率的に効果的に事業を運営できるよう工夫する必要がある。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他に あるか？類似事務事業がある場合、その 事務事業との統合や連携を図ることは できるか？	☐ 類似事務事業がある (類似する事務事業の名称を記入↓) ☐ 統合・連携ができる 【理由と具体案↓】 ☐ 統合・連携ができない 【理由↓】 ☒ 類似事務事業がない	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	休止・廃止した時の影響及び休 止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響 はあるか？また成果から考えて、休止・ 廃止することはできるか？	☐ 影響なし ☒ 影響あり 【理由と影響の内容↓】 ハイリスク者への支援ができず、生活習慣病の有病者と予 備群を増加させてしまう。	☐ 休止・廃止ができる ☒ 休止・廃止できない 【理由↓】 参加者の多くが減量に成功し、健康的な生活習慣を獲得でき ている。また、毎年新たな対象者が参加しているので休止す ることはできない。
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減 できないか？(仕様や工法の適正化、住 民の協力など)	☐ 削減余地がある 【理由・具体案↓】 ☒ 削減余地がない 【理由↓】 H23年度は委託をしないため、コストは削減されている。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できない か？(事業のやり方の見直しによる業務 時間の削減や臨時職員対応や外部委 託による削減はできるか？)	☒ 削減余地がある 【理由・具体案↓】 ☐ 削減余地がない 【理由↓】 参加人数によってはスタッフの人数や時間を変えるなど改善の検討は必要と思われる。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
公平 性 評価	受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っ ていないか？受益者負担を見直す必要 はないか？公平公正か？	☐ 見直し余地がある 【理由・具体案↓】 ☒ 公平・公正である 【理由↓】 今年度から腹部CT検査の受益者負担を始めた。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
目的妥当性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり 有効性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり 効率性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり 公平性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり	国の義務的業務でもあるが、検診結果により適切な指導を行い、生活習慣等を改善しなければ、健診自体の 意味がなくなる。市民が生活習慣を見直し、継続維持していけるような内容の教室にしていける必要がある。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可		(3) 改革・改善による方向性																						
☐ 廃止(目的妥当性、 、 の結果) ☐ 事業統合・連携(有効性 の結果) ☐ 公平性改善(公平性 の結果) ☐ 休止(目的妥当性、 、 の結果) ☒ 成果向上(有効性 の結果) ☒ 現状維持(全評価項目で適切) ☐ 必要性検討(目的妥当性、 、 の結果) ☐ コスト削減(効率性、 の結果)		<table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト水準</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果水準</th><th>向上</th><td>☐</td><td>☒</td><td>☐</td></tr><tr><th>維持</th><td>☐</td><td>☐</td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td>☐</td><td></td><td></td></tr></table> 廃止・休止の場合は記入不要				コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☒	☐	維持	☐	☐		低下	☐		
		コスト水準																						
		削減	維持	増加																				
成果水準	向上	☐	☒	☐																				
	維持	☐	☐																					
	低下	☐																						
(2) 改革改善案について																								
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策		(5) 事務事業優先度評価結果																						
		成果優先度評価結果																						
		コスト削減優先度評価結果																						